

岐阜県立不破高等学校

校 長 堀 貴雄

学校所在地 不破郡垂井町宮代 1919 の 1 電話 0584-22-1002

1 会議の名称 岐阜県立不破高等学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 (評議員は五十音順)

評議員	川上 裕美	宮代保育園園長
	桐山 正紘	垂井町社会福祉協議会前会長
	西川 一明	宮代公民館長
	丹羽 豊次	同窓会会長
	廣中 俊夫	P T A会長
学校側	堀 貴雄	校長
	棚橋 毅	教頭
	牧野 雅則	事務長
	橘 博	教諭
	曾根 章好	教諭
	川瀬 和仁	教諭
	岡田 真紀	教諭
生徒	5名	

3 会議の目的 学校運営について地域住民や保護者から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成28年2月5日(金) 10:00~11:30 校長室
評議員5名・生徒5名・学校職員7名

5 会議の概要

(1) 生徒発表

5人の生徒が、『高校で頑張ったこと』というタイトルで各自の体験を語った。
(発表内容は、学習・進路・生徒会・部活動・生活等の内容であった。)

(2) 本校の現状と課題

・外部評価について

アンケート集計結果の報告と分析。

・自己評価について

学校経営・学習指導・生徒指導等・進路指導について、具体的取組、実践内容、評価の報告と成果について報告し、来年度の課題の把握。

(3) 学校評議員からの提案・提言

- ・生徒の発表は大変良かった。このような生徒の声を、中学生にも聞かせる機会をつくれるとよい。そうすることで本校の良さがより伝わるのではないか。
- ・まず、校内・校外に分けて考える必要がある。校内での指導は大変良い。しかし、それが校外へ伝わっていない。学校活性化のためにも、良さをアピールする必要がある。
- ・不破高は、生徒一人ひとりを大切にされた個別指導に力を入れていることをアピールするとよいのではないか。
- ・PTA総会など、保護者の参加率が悪い。この現状を踏まえ、保護者が参加したくなるような計画を工夫してほしい。
- ・子供の入学前には良くない話も聞いたが、入学させて本当によかったと感じている。
- ・部活動を1年生の途中で辞めてしまう生徒がいるのは残念である。やはり、就職者は特に部活動で得るものは多い。ぜひ部活動をやらせてほしい。
- ・不破高セッション（保護者・教員・生徒と一緒に話合う協議会）が、台風でできなかったことが大変残念である。来年度も是非計画し実施してほしい。
- ・学習指導（テスト等）で、よい点数が取れると自信を持つので、そうなるように気配りしてほしい。
- ・教員は大変であろうが、粘り強く指導してほしい。
- ・要特別支援の生徒への理解を深め、さらに研修会等で学んでほしい。
- ・自転車の二人乗りや、道路を広がって歩いている生徒がまだいるのは残念である。
- ・保育園でも『ふるさとに愛着を感じる心』を育てている。人権を大切にしたいや思いやりの心を、将来を見通して育てていくことが大切だと実感した。
- ・「いいとこ伸ばし」については、生徒ができることだけがいいことではなく、興味のあることや好きなこともいいことととらえて、育てていくことが大切である。いいところを伸ばしてほしい。
- ・みんな（保育園児から高校生まで）が仲良くなるためにも、保育園との交流をぜひ続けていってほしい。

(4) 会議のまとめ

今回の評議員会では、①3年生の生徒の発表 ②生徒や保護者等を対象としたアンケート結果から現状を分析し報告 ③自己評価を各分野・分掌別に説明 その後、学校評議員の皆様から忌憚のないご意見やご提言をいただいた。客観的な視点から、次年度の計画につなげることでできるような具体的ご意見を拝聴することができた。貴重な助言を真摯に受け止め、生徒や保護者、地域からますます愛される学校づくりに生かしていきたい。